



公的資金による助成を受けた学術論文等は、
2025年度新規公募分より、
即時でオープンアクセス (OA) に
することが義務となります。

OAとは、学術論文等を誰でも
自由に利活用できることを指します。

OPEN ACCESS with HUSCAP

OA義務化の対象となる公的助成

JSPS (日本学術振興会)	科学研究費助成事業
JST (科学技術振興機構)	戦略的創造研究推進事業 (一部を除く)
AMED (日本医療研究開発機構)	戦略的創造研究推進事業 (革新的先端研究開発支援事業)
JST (科学技術振興機構)	創発的研究支援事業

※2025年度新規公募時点。今後、変更の可能性があります。

学術論文等をOAにするには

学術論文等をOAにする方法は複数あります。学術論文等を機
関リポジトリに掲載する方法 (セルフアーカイブ) や、APCを支
払い電子ジャーナル上でOAとする方法などです。
北海道大学所属の研究者は、北海道大学の機関リポジトリ・
HUSCAPに論文および根拠データを掲載することで、OA義務
化に対応することができます。

公開可能なバージョンの論文を、公開禁止期間 (エンバーゴ) 後
にHUSCAPで公開することができます。公開に関する出版社の
著作権規定は附属図書館でお調べします。

OA義務化の対象物

- 1 学術論文: 電子ジャーナルに掲載された査読済みの
研究論文 (出版社版または著者最終稿)
- 2 根拠データ: 掲載電子ジャーナルの執筆要領、出版規
程等において、透明性や再現性確保の観点から必要
とされ、公表が求められる研究データ (Supplemental
Data等の公表を前提としているデータ)

即時OAとは

学術雑誌への掲載後、エンバーゴなくOAであることです。学術
論文が電子版として学術雑誌に掲載後、3カ月程度で機関リポジ
トリで公開することが目安とされています。出版社によりエン
バーゴが規定されている場合は、公開延期が認められています。

まずは

公的助成を受けて発表した学術論文等が、OA義務化に
該当するかご確認ください。査読後の著者最終稿は捨て
ずに取っておきましょう。対象の学術論文等がありましたら、
HUSCAP担当へお送りください。

送付先

附属図書館HUSCAP担当

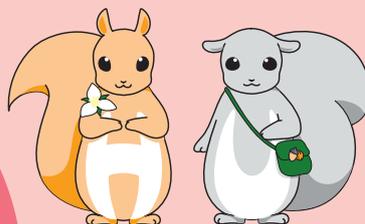
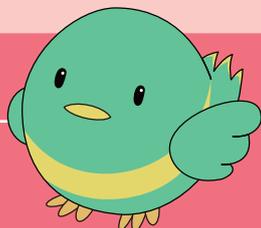
送付いただくもの

論文の情報とDOI等、
原稿ファイル・
根拠データのファイル

問い合わせ先

附属図書館HUSCAP担当
repo@lib.hokudai.ac.jp

詳しい情報は、下記URLか右の二次元バーコードから確認してください。
https://www.lib.hokudai.ac.jp/support/immediate_open_access



OA
すぐろく



OPEN ACCESS すぐろく

START!!

研究費とれた!

調査・実験



学会で発表



論文書いた!

論文投稿
ジャーナルを
選ぶ



投稿前に
気をつけてね



出版の
契約だよ



投稿ジャーナルが
Predatorだった

調査・実験に戻る

論文アクセプト!
論文の著作権を
譲渡した!

査読に時間が
かかっている

1回やすみ

APCが高い!

「論文の出版ってお金がかかりすぎではと思う」に進む

論文が
Publishされた!



論文の出版って
お金がかかりすぎでは
と思う

「HUSCAPでOAにできるよ」に進む

APCを支払って
Gold OAで出版

ゴールに進む



論文をOAに
しなくちゃ



APCはいらないよ
セルフアーカイブだよ



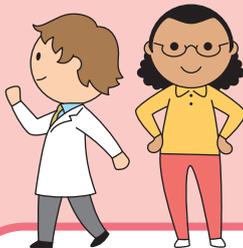
HUSCAPで
OAにできるよ



HUSCAPに
論文を送った



図書館のサポートで
著作権クリア!



図書館で
調べるから
任せて!



著作権的に
セルフアーカイブ
OK?



著者最終稿を
捨てちゃった!

1回休み

共著者が
セルフアーカイブした

ゴールに進む

根拠データの
登録を忘れてた!

ひとつ戻る



Supplement
Dataのことだよ

OAって関係ない
と思ってた!

1回休み

成果の流通、
もっといい方法ない?
とふと思う

アイデアを
教えて!



セルフアーカイブ
完了!

ゴールに進む

書類に書くのを
忘れずに

著者最終稿が対象
のこともあるよ

GOAL!!

OAにした!

おつかれさまでした。
これであなたも
OAマスター!

